SONY

3-265-114-**11**(1)

ポータブルミニディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全のために」の注意事項は、裏面をご覧ください。

MZ-E520

MDLP

付属品を確かめる

● ヘッドホン

● リモコン

● 充電スタンド

● ACパワーアダプター（3V用）

● キャリングポーチ

● 充電式ニッケル水素電池
NH-10WM

● 充電式電池ケース
（Battery carrying case）

● 乾電池ケース

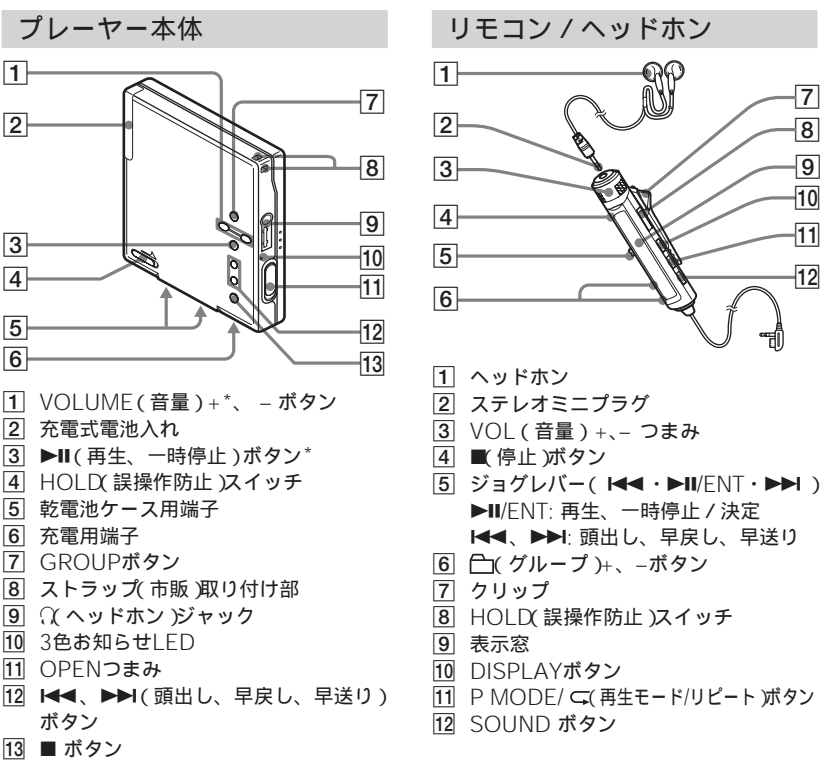
● 取扱説明書

● 保証書

● ソニーご相談窓口のご案内

各部のなまえ

プレーヤー本体

1 VOLUME（音量）+*、－ボタン
2 充電式電池入れ
3 ▶II（再生、一時停止）ボタン*
4 HOLD（誤操作防止）スイッチ
5 乾電池ケース用端子
6 充電用端子
7 GROUPボタン
8 ストラップ（市販）取り付け部
9 ◠（ヘッドホン）ジャック
10 3色お知らせLED
11 OPENつまみ
12 I◀◀、▶▶I（頭出し、早戻し、早送り）ボタン
13 ■ ボタン

* ボタンに凸点（突起）がついてます。操作の目印としてお使いください。

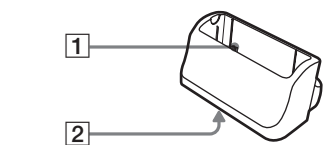
充電スタンド

1 充電用端子
2 DC IN 3Vジャック（底面）

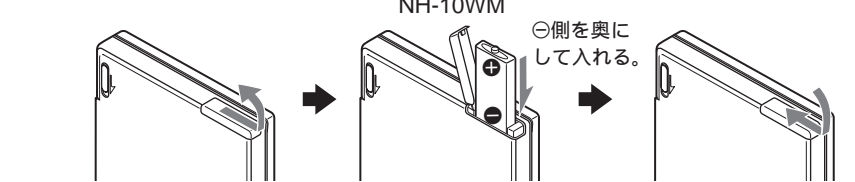
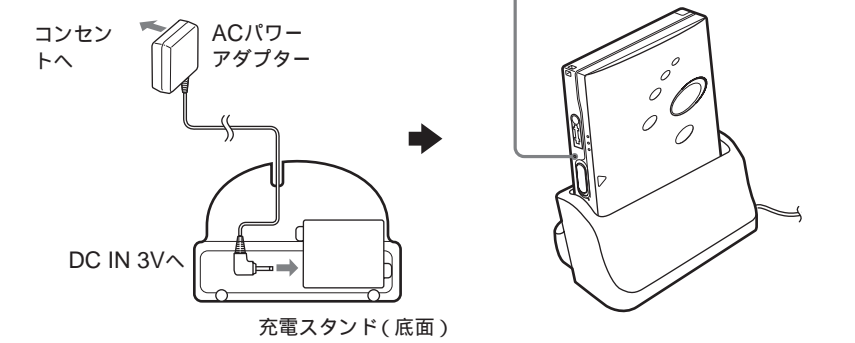
リモコン／ヘッドホン

1 ヘッドホン
2 ステレオミニプラグ
3 VOL（音量）+、－ つまみ
4 ■（停止）ボタン
5 ジョグレバー（I◀◀・▶II/ENT・▶▶I）
▶II/ENT: 再生、一時停止／決定
I◀◀、▶▶I: 頭出し、早戻し、早送り
6 🗀（グループ）+、－ボタン
7 クリップ
8 HOLD（誤操作防止）スイッチ
9 表示窓
10 DISPLAYボタン
11 P MODE/⊂（再生モード/リピート）ボタン
12 SOUND ボタン

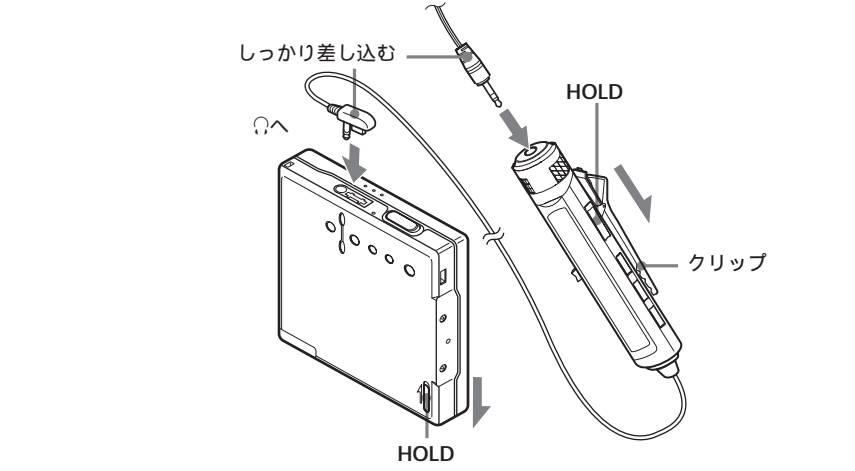
リモコン表示窓

1 ディスク表示
2 曲番表示部
3 文字情報表示部
4 再生モード表示
5 6バンドイコライザ表示
6 電池残量表示

準備する

お使いになる前に、まず充電式電池を充電してください。

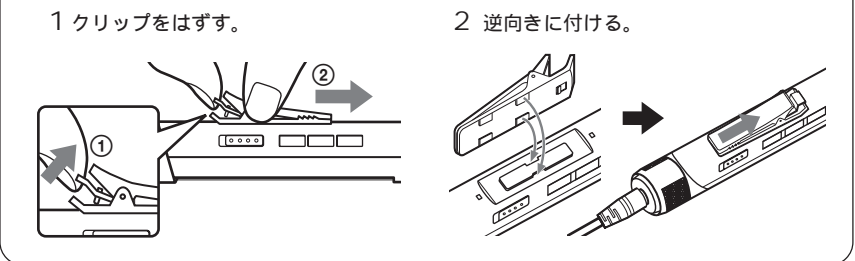
1 充電式電池を入れる

2 充電する

充電状態を「3色お知らせLED」でお知らせします。
赤色→オレンジ色→消灯（約2時間半後）
LEDが消えた時点でお使いになれます。
（リモコンをつないでいるとき、充電中は表示窓に「CHARGING」と表示されます。）

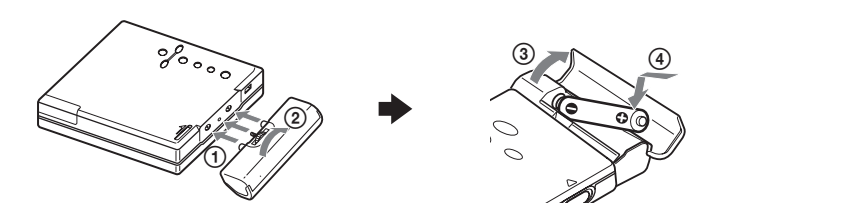
ご注意
充電中、再生などの操作をすると充電が停止します。

3 リモコンをつなぎホールドを解除する

リモコンのクリップの使いかた

リモコンを取り付ける位置によっては、表示窓に出る文字の向きが上下逆転し、読みにくい場合があります。その場合、下記のようにリモコンのクリップを逆向きにつけてください。

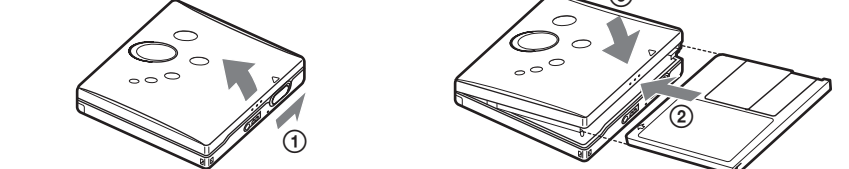
1 **クリップをはずす。**

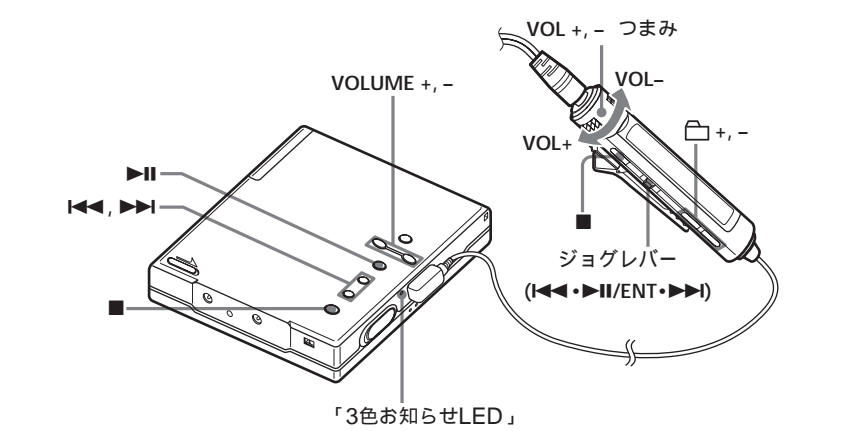
2 **逆向きに付ける。**

アルカリ乾電池で使うときは

1 **乾電池ケースを本体に取り付ける。**
2 **必ず⊖側から入れる。**

別売りのソニーアルカリ乾電池（単3形）を1本入れます。
充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。

ミニディスクを聞く

1 ミニディスクを入れる

① OPENつまみを矢印の方向へずらす。② **ミニディスクを入れる。**③ **ふたを閉める。**

ディスクのラベル面を上にし、矢印の向きに奥まで押し入れてください。

2 再生する

① **ジョグレバーを押す（▶II）（本体では▶IIを押す）。**
「ピ」と確認音がします。「3色お知らせLED」が赤色に点灯します（グループ設定されたディスクのときは緑色に点灯します）。

② VOL**つまみを＋または－側へ回して、音量を調節する（本体では**VOLUME ＋**または－を押す）。**
リモコンの表示窓で音量を確認できます。

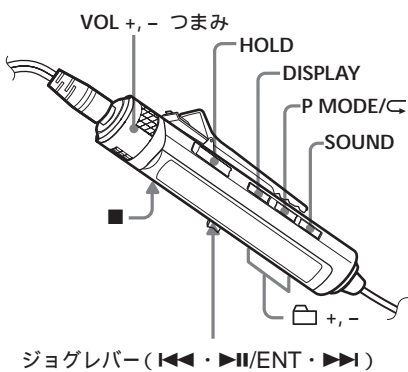
再生を止めるには、■ボタンを押す。
「ピー」と確認音がします。
次に再生する時は、止めたところの続きから始まります。ディスクの初めの曲から再生を始めたいときは、ジョグレバー（▶II）を2秒以上押したままにして（本体では▶IIを2秒以上押したままにする）、再生を始めてください。

こんなときは	操作（確認音）
一時停止する	▶IIを押す。（ピ・ピ・ピ・・・） もう一度押すと解除されます。
今聞いている曲、またはさらに前の曲を頭出しする	ジョグレバーをI◀◀側にずらす。（本体ではI◀◀を押す。） （ピピピ）
次の曲を頭出しする	ジョグレバーを▶▶I側 にずらす。（本体では▶▶Iを押す。） （ピピ）
再生しながら早戻しまたは早送りする	ジョグレバーをI◀◀側または▶▶I側にずらしたままにする。 （本体ではI◀◀ または▶▶Iを押したままにする。）
経過時間を見ながら聞きたい場所を探す（タイムサーチ）	一時停止中、ジョグレバーをI◀◀側または▶▶I側にずらしたままにする。
曲番を見ながら聞きたい場所を探す（インデックスサーチ）	停止中、ジョグレバーをI◀◀側または▶▶I側にずらしたままにする。
10曲ごとに頭出しする[1]	🗀 ＋、－ボタンを押す。
ディスクを取り出す[2]	■を押してから、本体のOPENつまみをずらす。

[1] グループ再生中は、グループの頭出し（グループスキップ）になります。くわしくは、「グループ再生する」をご覧ください。

[2] ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。

▶いろいろな聞きかた

ここからは、リモコンのボタンを使った操作を主体に説明しています。

曲名や曲の時間を見る

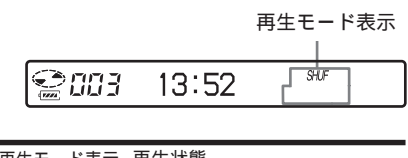
曲名やディスク名、曲番、曲の経過時間、録音されている曲数、グループ名、グループ内の総曲数を確認できます。

1 DISPLAY**を押す。**
押すたびに表示は次のように変わります。

A	B
曲番	経過時間
曲番	曲名
グループ内の総曲数	グループ名
総曲数	ディスク名
曲番	サウンドモード
曲番	SP/LPモード

ご注意
- グループ再生／通常再生の状態や、動作状態、設定状態によっては、表示が選択できなかったり、表示が異なったりすることがあります。
- SP/LPモードは、再生中のみ表示され、しばらくすると自動的に経過時間表示に戻ります。

再生モードを選ぶ

1 P MODE/⊂**を繰り返し押す。**
押すたびに表示は次のように変わり、選んだ表示の状態で再生します。

再生モード表示

再生モード表示	再生状態
（表示なし）	通常の再生（ディスク全曲を1回再生）
1	1曲再生（今、再生している曲のみを再生）
🔖	ブックマーク再生（ブックマーク（しおり）がついている曲だけを順番に再生）
SHUF	シャッフル再生（全曲を順不同に並べかえて再生）
PGM	プログラム再生（聞きたい曲を好きな順に並べかえて再生）
🗀*	グループ通常再生（グループ1から順にグループごとに1回再生）
🗀 *SHUF**	イングループシャッフル再生（再生中のグループ内の曲をシャッフル再生、そのあと順に次のグループ内の曲をシャッフル再生）
🗀 *PGM**	グループプログラム再生（グループ単位で好きな順に並べかえて再生）

* グループ設定されたディスクのときのみ表示されます。

好きな曲だけを選んで聞く（ブックマーク再生）

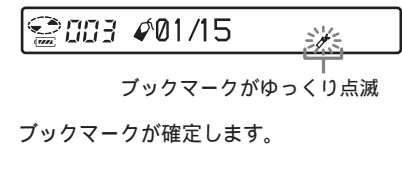
好きな曲にブックマーク（しおり）をつけていき、その曲だけを再生することができます。ただし、曲順を変えることはできません。

ブックマークをつけるには

1 ブックマークをつけたい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。

ブックマークがゆっくり点滅

ブックマークが確定します。

2 手順1を繰り返してブックマークをつけていく。
全部で15曲までつけられます。

ブックマークした曲を再生するには

1 再生中、P MODE/⊂ を繰り返し押して、「🔖 TrPLAY?」を表示させる。

2 ジョグレバーを押す。
ブックマークのついた一番小さい曲番から順に再生が始まります。

ブックマークを消すには

ブックマークを消したい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押します。

ご注意
ふたを開けると設定は解除されます。

好きな順に曲を並べかえて聞く（プログラム再生）

1 再生中、「PGM**」が表示されるまで、**P MODE/⊂**を繰り返し押す。**

2 ジョグレバーを繰り返しずらして曲番を選び、押して決定する。

曲番　プログラムの順番

3 手順2を繰り返して好きな順に曲を選ぶ。
全部で15曲までプログラムできます。

4 選び終わったら、ジョグレバーを2秒以上押す。
プログラムした順に再生が始まります。

グループプログラム再生するには

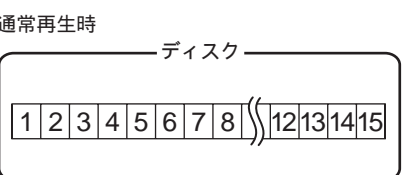
上記の手順1で「🗀 PGM」を表示させてから、手順2～4を行います。全部で10個までプログラムできます。プログラムしたグループ順に再生します。

💡
再生が終わったとき、または途中で止めたときも、プログラム設定は残っています。

ご注意
ふたを開けると設定は解除されます。

グループ再生する

グループ設定されたディスクとは？

MDレコーダーを使って、1枚のディスクの中の曲をいくつかのグループに分けて録音・編集したディスクのことです。CDアルバム別やアーティスト別などのグループに分けて管理するときに便利です。
本機では、グループ設定されたディスクをグループごとに再生することができます。

通常再生時

グループ再生時

グループに入っていない曲は「Group －－**」に属しているとみなされる。**

グループ1から順にグループごとに再生したあと、グループに入っていない曲（「Group －－」）を再生して終わります。

ご注意
本機でグループ設定することはできません。MDレコーダーなどで設定してください。

1 再生中、P MODE/⊂**を繰り返し押して、🗀を表示させる。**

グループの頭出し（グループスキップ）をするには

リモコン操作
1 再生中、🗀 ＋または－を押す。
🗀 －ボタンを押すとグループの先頭曲に、続けてもう一度押すと前のグループの先頭曲に移動します。

本体操作
1 再生中、GROUPを押す。
2 I◀◀ または▶▶Iを押す。

💡
「3色お知らせLED」は、グループ再生中は緑色に点灯し、グループ頭出し中はオレンジ色に点滅します。

繰り返し聞く（リピート再生）

通常の再生や1曲再生、シャッフル再生、プログラム再生などを繰り返し聞くことができます。

1 お好みの再生モードで再生中、P MODE/⊂**を2秒以上押す。**
「⊂」が点灯します。

リピート再生

解除するには

P MODE/⊂を2秒以上押します。

💡
リピート再生中に、P MODE/⊂を押すと、リピートのままで再生モードを変えることができます。

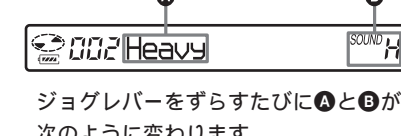
好みの音にする（6バンドイコライザ）

お好みの音質を6種類の中からリモコンで選択・設定することができます。

1 再生中、SOUND**を繰り返し押し、「**SOUND**」を選ぶ。**

2 SOUND**を2秒以上押す。**

3 ジョグレバーを繰り返しずらしてサウンドの種類を選ぶ。

ジョグレバーをずらすたびにAとBが次のように変わります。

A	B
Heavy	SOUND H
Pops	SOUND P
Jazz	SOUND J
Unique	SOUND U
Custom1	SOUND 1
Custom2	SOUND 2

4 ジョグレバーを押して決定する。

途中で設定をやめるには

DISPLAYボタンまたは■ボタンを2秒以上押します。

設定を解除するには

上記の手順1でBに何も表示されていない状態を選びます。

好みの音質にする

「Custom1」と「Custom2」には、お好みの音質を記憶させることができます。

1 上記の手順1～3を行い、「Custom1」または「Custom2」を表示させる。

2 ジョグレバーを押して決定する。

3 ジョグレバーを繰り返しずらして周波数を選ぶ。

周波数（100Hz）

周波数は左から、100Hz、250Hz、630Hz、1.6kHz、4kHz、10kHz**です。**

4 VOLつまみを繰り返し回してレベルを調節する。

レベル（+10dB）

レベルは次の7段階から選べます。
–10dB、–6dB、–3dB、0dB、+3dB、+6dB、+10dB

5 手順3と4を繰り返す。

6 ジョグレバーを押して確定する。

▶各種設定

音もれを抑え耳にやさしい音にする（AVLS — オートボリュームリミッターシステム — 快適音量）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことでの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。

1 再生中、DISPLAY**を2秒以上押す。**

2 ジョグレバーをずらして「AVLS**」を選び、押して決定する。**

3 ジョグレバーをずらして「AVLS On**」を選び、押して確定する。**
「AVLS On」が表示されます。

本体で設定するには

再生中、HOLDスイッチを⊿の方向にずらし、VOLUME – ボタンを押しながら、HOLDスイッチを⊿と逆方向にずらします。

AVLSを解除するには

リモコンでは、上記の手順3で「AVLS Off」を選び、ジョグレバーを押します。
本体では、再生中にHOLDスイッチを⊿の方向にずらし、VOLUME ＋ボタンを押しながら、HOLDスイッチを⊿と逆方向にずらします。

確認音を消す

リモコンと本体の確認音を消すことができます。

1 DISPLAY**を2秒以上押す。**

2 ジョグレバーをずらして「Beep**」を選び、押して決定する。**

3 ジョグレバーをずらして「Beep Off**」を選び、押して確定する。**
リモコンと本体の確認音が消えます。

途中で設定をやめるには

DISPLAYボタンまたは■ボタンを2秒以上押します。

確認音を鳴らすには

上記の手順3で「Beep On」を選びます。

リモコン表示窓のバックライトをつける／消す

1 DISPLAY**を2秒以上押す。**

2 ジョグレバーをずらして「Backlight**」を選び、押して決定する。**

3 ジョグレバーをずらして設定を選ぶ。

表示	設定
Auto	操作中は点灯。しばらくすると消灯（お買い上げ時の設定）
On	動作中は常に点灯
Off	常に消灯

4 ジョグレバーを押して確定する。

すばやく音を聞く（クイックモード）

再生ボタンを押したあとや、曲を頭出ししたあと、すばやく再生音を聞くことができます。

1 DISPLAY**を2秒以上押す。**

2 ジョグレバーをずらして「PowerMode**」を選び、押して決定する。**

3 ジョグレバーをずらして「Quick**」を選び、押して確定する。**
「Quick」が表示されます。

途中で設定をやめるには

DISPLAYボタンまたは■ボタンを2秒以上押します。

設定を解除するには

上記の手順3で「Normal」を選びます。

ご注意
- 設定を「Quick」にすると、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。そのため、電池の持続時間が短くなりますので毎日充電することをおすすめします。
- 何も操作されない状態（ふたの開閉を含む）で、17時間が経過すると、自動的に本体内部の電源が切れます。次に操作したときの動作は遅くなりますが、そのあとはまたクイックモードになります。

電池の消耗を抑える（パワーセーブ機能）

電池の持続時間を最大限に長くする機能です。本体の「3色お知らせLED」を常に消灯させたり、操作したあとまもなくリモコン表示を消灯させたりして電池の消耗を抑えます。

1 DISPLAY**を2秒以上押す。**

2 ジョグレバーをずらして「PowerMode**」を選び、押して決定する。**

3 ジョグレバーをずらして「PowerSave**」を選び、押して確定する。**
本体の「3色お知らせLED」が消えます。

途中で設定をやめるには

DISPLAYボタンまたは■ボタンを2秒以上押します。

「3色お知らせLED」をつけるには

上記の手順3で「Normal」を選びます。

▶ 各種設定（つづき）

誤操作を防ぐ
（ホールド機能）

1 リモコンのHOLDを◀━の方向に，本体では⊿の方向にずらす。
リモコンのHOLDスイッチをずらすと、リモコンの操作ボタンが、本体のHOLDスイッチをずらすと、本体の操作ボタンが働かなくなります。

HOLDを解除するには
HOLDスイッチを矢印と逆の方向にずらします。

音飛びを抑える
(G-PROTECTION)

G-PROTECTIONはジョギング時の衝撃を想定して開発された音飛びガード機能です。従来の音飛びガードよりさらに音飛びに強くなっています。

ご注意
次のようなとき、音が飛ぶことがあります。
- 強い衝撃が連続的に与えられたとき
- 傷や汚れのあるMDを聞いているとき

▶電源について

充電式電池・乾電池の取り換え時期は

ご使用中、リモコンの表示窓の電池残量表示で、または本体の「3色お知らせLED」表示でお知らせします。

リモコンの表示窓

残量が少なくなってます。
↓
電池が消耗しています。
↓
残量がありません。リモコンの「LOW BATT」表示が点滅し、電源が切れます。

本体の「3色お知らせLED」表示

LED点灯　電池残量は充分です。
↓
LED遅い点滅　電池残量が少なくなってます。
↓
LED速い点滅　電池残量がありません。しばらくするとLEDが消灯し、電源が切れます。

ご注意
- 100%充電されていない充電式電池を入れても、残量表示がすべて点灯することがありますが、充電量（充電時間）が少なければ、持続時間は短くなります。
- 早戻し／早送り時や極端に温度が低い場所で使用している時は、残量が多めに、または少なめに表示されることがあります。

電池の持続時間[1] (JEITA[2])

使用電池	SP ステレオ（通常）	LP2 ステレオ	LP4 ステレオ
充電式ニッケル水素電池 NH-10WM（100%充電時）	約24時間	約35時間	約41時間
アルカリ乾電池 LR6(SG)[3]	約62時間	約81時間	約93時間
充電式ニッケル水素電池とアルカリ乾電池[3]の併用	約91時間	約116時間	約135時間

1) パワーセーブ機能ON時の値です。
2) JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です（ソニーMDWシリーズのミニディスクを使用）。
3) 日本製ソニーアルカリ乾電池LR6（SG）で測定しています。

ご注意
電池の持続時間は、周囲の温度や使用状態、電池の種類により、短くなる場合があります。

コンセント（家庭用電源）につないで使う

ACパワーアダプターを充電スタンドにつなぎ、そこに本体をのせると、充電式電池や乾電池なしで使うことができます。

▶その他

使用上のご注意

分解しないでください
ミニディスクプレーヤーに使われているレーザー光が目にあたると危険です。

レンズに触れないでください
レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを開けないでください。

ACパワーアダプターについて（付属の充電スタンド専用）
- この製品には、付属のACパワーアダプター／別売りのACパワーアダプター AC-E30Lをご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  — 本機を本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  — 火災や感電の危険を避けるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。

充電について
- 付属の充電スタンドは、本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属の充電スタンドでは、指定の電池以外は充電しないでください。
- 充電は、+5℃〜+40℃の場所で行ってください。
- 充電中は、充電スタンドや充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池では持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、何回か充放電を繰り返すと充分充電されるようになります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。
- 充電が終わったら、早めに本体を充電スタンドからはずし、ACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。

日本国内での充電式電池の廃棄について
Ni-MH
ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRC ホームページ：http://www.jbrc.net/hp/contents/index.htmlを参照してください。

取り扱いについて
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強くひっぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  — 温度が非常に高いところ
  — 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
  — 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）
  — 風呂場など、湿気の多いところ
  — 磁石、スピーカー、テレビなどの磁気を帯びたものの近く
  — ほこりの多いところ
- 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）では液晶表示が見えにくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温に戻れば元に戻ります。
- キャリングポーチには本体と一緒に硬いものを入れないでください。塗装のはげや傷の原因となります。

温度上昇について
充電中および長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

動作音について
本機は省電力の動作方式になっています。
そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

ミニディスクの取り扱いについて
- ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
  — **ミニディスクに直接触れない**
  シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

  — **持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる**
  — **置き場所について**
  直射日光が当たるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性のあるところには放置しないでください。
  — **定期的にお手入れを**
  カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふき取ってください。
- ディスクに付属のラベルは所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみに合わせてしっかり貼ってください。

ヘッドホンについて
- 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を、目安にしてください。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはお客様ご相談センターにご相談ください。

リモコンについて
- 付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンでは本機の操作はできません。
- リモコンクリップを紛失した場合は、お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのサービス窓口にご相談ください。

乾電池ケースについて
付属の乾電池ケースは本機専用です。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。（ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。）

お手入れ

表面が汚れたときは
表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきをします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れについて
常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音や音切れの原因になることがあります。

端子のお手入れについて
定期的に各端子（本体の充電用端子や、乾電池ケースの端子など）を綿棒や柔らかい布などできれいにしてください。

本体充電池挿入部

乾電池ケース（付属）

充電式電池（付属）／乾電池（別売り）

充電スタンド（付属）

端子

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。
ご不明な点があるときは、お客さまご相談センターへお問い合わせください。

充電できない
- 充電スタンドの充電用端子が汚れている。
  ➡ 充電用端子を乾いた布などで拭いてください。
- 充電式電池が入っていない。
  ➡ 充電式電池を入れてください。
- 充電している場所の温度が高すぎる。（リモコンに「CannotCHG」表示が出る）
  または低すぎる。（リモコンに「SLOW CHG」表示が出る）
  ➡ 充電は、+5℃〜+40℃の場所で行ってください。

本体を充電スタンドに置いても「3色お知らせLED」がつかない
- 充電式電池が入っていない。
  ➡ 充電式電池を入れてください。
- 本体を充電スタンドに置いてもすぐに「3色お知らせLED」がつかないときがあります。
  ➡ 本体を充電スタンドに置いて約3分後、「3色お知らせLED」が点灯し、充電が始まります。

操作を受けつけない
- 電池が正しく入れられていない。
  ➡ 電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れ直してください。
- ディスクが入っていない（リモコンに「NO DISC」表示が出る）。
  ➡ ディスクを入れてください。
- ホールド機能が働いている（本体の操作ボタンを押すとリモコンに「HOLD」表示が出る）。
  ➡ HOLDスイッチを矢印と逆方向にして、ホールド機能を解除してください。
- リモコンで設定中に本体のボタンを押した。（本体のボタンを押すとリモコンに「MENU」表示が出る）。
  ➡ リモコンで操作を終了させてください。
- 結露（内部に水滴が付着）している。
  ➡ ディスクを取り出して、数時間待ってください。
- 充電式電池または乾電池が消耗している（リモコンに「LOW BATT」表示が出る）。
  ➡ 充電式電池を充電するか、乾電池を新しいものと交換してください。
- 何も録音されていないディスクが入っている（リモコンに「BLANKDISC」表示が出る）。
  ➡ 録音されたディスクを入れてください。
- ディスクが損傷している（リモコンに「READ ERR」または「TOC ERR」表示が出る）。
  ➡ ディスクを入れ直す。それでも表示が出るときは、他のディスクと取り換えてください。
- 使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けた。
  ➡ 次の手順で操作し直してください。
  1 すべての電源をはずす。
  2 約30秒間そのままにする。
  3 電源をつなぐ。

ヘッドホンから音が出ない
- ヘッドホンがしっかりと差し込まれていない。
  ➡ ♫ジャックにしっかりと差し込んでください。
  ➡ ヘッドホンをリモコンにしっかりと差し込んでください。
- AVLS機能が働いている。
  ➡ AVLSを解除してください。くわしくは「音もれを抑え耳にやさしい音にする」をご覧ください。

再生できない
- Hi-MD規格専用ディスクまたはHi-MDフォーマットされた現行の録音用ディスクが入っている。
  ➡ 本機では再生できません。

通常の再生ができない
- リピート再生を指定した。
  ➡ リモコンのP MODE/⊂ボタンを2秒以上押したままにして、⊂（リピート）表示を消してから再生を始めてください。

ディスクの1曲目から再生できない
- 前回再生したときディスクの途中で止めた。
  ➡ ふたを開けるか、停止中にリモコンのジョグレバーを2秒以上押したままにしてください。1曲目から再生できます。

再生中に音がとぎれる
- 振動の多い場所に置いている。
  ➡ 振動の少ない場所で使ってください。
- ナレーションやイントロなど1曲の録音時間が極端に短いと、音がとぎれることがあります。

雑音が多い
- テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。
  ➡ テレビなどから離して置いてください。

瞬間的なノイズが聞こえる
- LP4（4倍モード）でステレオ録音された音を再生している。
  ➡ LP4ステレオ録音した音を再生した場合、圧縮方式の特性により、ごくまれに瞬間的なノイズが聞こえることがあります。

再生中に「3色お知らせLED」やリモコンの表示窓がつかない
- パワーセーブ機能が働いている。
  ➡ パワーセーブ機能が働いているとき、リモコンで操作すると表示窓がつきますが、本体で操作しても表示窓はつきません。（ただし、本体のGROUPボタンを押したときのみつきます。）

グループ機能が動作しない
- グループ設定されていないディスクを使用している。
  ➡ グループ設定されたディスクを使用してください。

ブックマーク再生ができない（リモコンに「NO MARK」表示が出る）
- ブックマークをつけていない状態でブックマーク再生を選ぼうとした。
  ➡ ブックマークをつけてください。くわしくは「好きな曲だけを選んで聞く」の「ブックマークをつけるには」をご覧ください。

主な仕様

形式
　ミニディスクデジタルオーディオシステム
再生読み取り方式
　非接触光学式読み取り（半導体レーザー使用）
レーザー
　GaAlAs MQWダイオード、
　λ = 790 nm
回転数
　約300 rpm〜2,700 rpm
エラー訂正方式
　ACIRC（アドバンスト クロス インターリーブ リードソロモン コード）
サンプリング周波数
　44.1 kHz
コーディング
　ATRAC（アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング）
　ATRAC3 — LP2/LP4
変調方式
　EFM
チャンネル数
　ステレオ2チャンネル
　モノラル1チャンネル
周波数特性
　20 〜 20,000 Hz ±3 dB
出力端子
　ヘッドホン:ステレオミニジャック
　最大出力 5 mW+5 mW*（16Ω）
電源
　充電式電池（付属：NH-10WM、1.2 V、900 mAh (MIN)、Ni-MH）1個
　アルカリ乾電池（単3形）1本
　外部電源ジャック（充電スタンド）　定格DC 3 V
　ACパワーアダプター（充電スタンド用、付属）、AC100V、50/60Hz
電池持続時間
　「充電式電池・乾電池の取り換え時期は」をご覧ください。
本体寸法
　約 73.4 ×80.6 ×15.7 mm
　（幅／高さ／奥行き、突起部含まず）
最大外形寸法*
　約 75.6 ×81.2 ×17.8 mm
　（幅／高さ／奥行き）
質量
　約 70g（本体のみ）
　約 93g（充電式電池含む）

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製造年は、本体のふたを開けた内側に表示されています。

別売りアクセサリー
　ACパワーアダプター　AC-E30L
　充電式ニッケル水素電池　NH-10WM
　ステレオヘッドホン*　MDR-E888SP、MDR-EX71SLなど
　アクティブスピーカー　SRS-Z510、SRS-Z30など

*ステレオヘッドホンについて
　ヘッドホンは、本体の♫ジャックにつなぐときも、リモコンにつなぐときも、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。

下記の機種は、本機と併用することができません。
　ロータリーコマンダー RM-WMC1
　MDラベルプリンター MZP-1
　ICメモリー・リピートラーニング・MDコントローラー RPT-M1

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
- **調子が悪いときはまずチェックを**
  この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも具合の悪いときはサービスへ**
  お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- **保証期間中の修理は**
  保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理は**
  修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- **部品の保有期間について**
  当社ではポータブルミニディスクプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

お問い合わせ先について
本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記までお知らせください。
- 本機の商品カテゴリーは［オーディオ］—［ウォークマン］です。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  — 型名
  — ご相談内容：できるだけ詳しく
  — お買い上げ年月日

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/
お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ········ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ··················· 0466-31-2595
受付時間 ：月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。
ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る
下記の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない
動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターや充電スタンドなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

❶ 電源を切る
❷ ACパワーアダプターをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

強制

⚠警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない
- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

禁止

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

禁止

国内専用機は海外で使用しない
ワールドモデル以外のACアダプターは、日本国内専用です。
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

強制

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない
感電の原因となります。

接触禁止

指定以外の充電スタンドやACパワーアダプターなどを使わない
破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

禁止

ぬれた手でACパワーアダプターや充電スタンドをさわらない
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本体やACパワーアダプター、充電スタンドを布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

火のそばや炎天下などで充電・放置しない
内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

禁止

充電スタンドの上に金属を置かない
充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

禁止

金属類と一緒に本体や乾電池ケースを携帯・保管しない
コイン、キーネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートし、発熱することがあります。

禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプターや充電スタンド、製品に長時間ふれない
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意
液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による**大けが**や**失明**を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険　充電式電池、乾電池が液漏れしたときは
充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険　充電式電池について
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 指定された充電スタンド、ACパワーアダプター以外で充電しない。
- 充電式電池用キャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯・保管する。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠警告　乾電池について
- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 乾電池の＋と－、または乾電池ケースの端子と本体の乾電池ケース用の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

⚠注意　乾電池について
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

お願い
使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。